

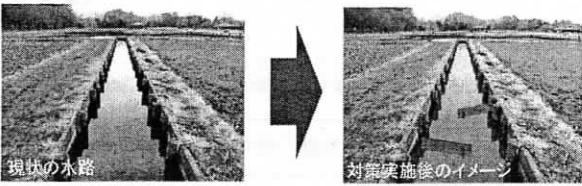
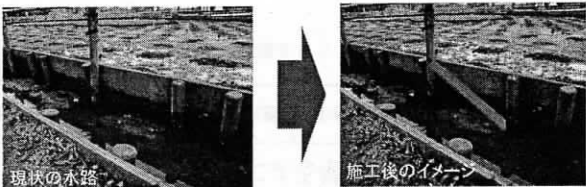





①盛土等による構造の改良・補修											②埋土種子による多様性向上											③外来種対策										
池	ハス池	菖蒲田	水田	水路	湿地	草地	樹林	北川	その他	池	ハス池	菖蒲田	水田	水路	湿地	草地	樹林	北川	その他	池	ハス池	菖蒲田	水田	水路	湿地	草地	樹林	北川	その他			
【目的】 ・両生類が水辺に行き来しやすくする ・両生類の越冬場所を創出する ・植生を豊かにする 【内容・効果】 ・池を囲む杭、菖蒲田の周囲の壁など、両生類の移動を阻害している場所について、盛土によって斜面を創出する。 ・水田の畦と水路を補修する。 ・盛土斜面、畦、土水路が越冬場所になることを期待する。 ・斜面では様々な水分条件が生じるため、様々な植物が生育できる。 【対象となる野生生物】 カエル類、植物 【イメージ】 											【目的】 ・池の植生を豊かにする ・水草を豊かにすることで、トンボ類やカエル類などを誘致する 【内容・効果】 ・希少な水草類の種子を含む可能性がある八国山緑地ふたつ池の底泥を採取し、しょうちゃん池やハス池などに撒く。水草が豊富な池になれば、トンボ類やカエル類などが暮らしやすい池になる。 【対象となる野生生物】 植物、トンボ類、カエル類など 【池の様子】 											【目的】 ・外来種を防除することにより、北山公園本来の自然環境を維持する 【内容・効果】 ・外来の水生動物は、罠などを用いて捕獲、駆除する。 ・外来の植物は、選択的な抜き取り除草などによって駆除する。 【対象となる野生生物】 アカミミガメ、ウシガエル、コイなど オオフサモ、オオカワヂシャ、アマゾンチカガミ、オオブクサ、セイタカアワダチソウなど 【外来の水生動物の捕獲罠】 										
④休耕による植生育成											⑤4月上中旬の水入れ											⑥よどみの創出										
池	ハス池	菖蒲田	水田	水路	湿地	草地	樹林	北川	その他	池	ハス池	菖蒲田	水田	水路	湿地	草地	樹林	北川	その他	池	ハス池	菖蒲田	水田	水路	湿地	草地	樹林	北川	その他			
【目的】 ・生物多様性に配慮した地力回復を行う ・植物の多様性を高める 【内容・効果】 ・菖蒲の育成をしない田面を設ける。 ・これまでのように表土を剥ぎ取らないため、希少植物の埋土種子を保全でき、余分な土壌の処分も不要となる。 ・休耕田は年ごとに場所をローテーションさせることにより、植生遷移の進行を防ぎ、いつでも菖蒲田に戻せる状態を維持できる。 【対象となる野生生物】 植物 【イメージ】 											【目的】 ・アキアカネの個体数を増やす 【内容・効果】 ・アキアカネの卵が孵化し、成長して羽化するためには菖蒲田や水田に4月中旬までに水が入ることが必要。 ・トンボ類の個体数が増加し、希少なカエル類の餌が増える。 【対象となる野生生物】 アキアカネ 【イメージ】 											【目的】 ・水路内に魚類の隠れ場所を創出する 【内容・効果】 ・魚類が生息しやすい水路になる。 【対象となる野生生物】 モツゴ、ギンブナ、メダカなど 【イメージ】 										

⑦這い出し工の設置										⑧草刈り方法の変更										⑨エコスタックの設置									
池	ハス池	菖蒲田	水田	水路	湿地	草地	樹林	北川	その他	池	ハス池	菖蒲田	水田	水路	湿地	草地	樹林	北川	その他	池	ハス池	菖蒲田	水田	水路	湿地	草地	樹林	北川	その他
<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水路に落下したカエル類が菖蒲田に戻れるような構造にする <p>【内容・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水路内の壁面に木板を斜めに固定し、小動物が水路から這い上がるための足場とする。 <p>【対象となる野生生物】</p> <p>カエル類</p> <p>【イメージ】</p>  <p>現状の水路 → 施工後のイメージ</p>										<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 草地や湿地の植生を多様にする <p>【内容・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 草刈りの時期や回数を変えることにより、植生を多様にする。 植生の種や草丈の多様化により、昆虫なども多様化する。 <p>【対象となる野生生物】</p> <p>植物、昆虫など</p> <p>【イメージ】</p>  <p>西武線に面した草地 しょうちゃん池に隣接した湿地</p>										<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> トカゲ類やヘビ類などの小動物の隠れ場所を提供する カミキリムシ、タマムシ、カブトムシなどの産卵場所を創出する 剪定枝や刈った草を整理する <p>【内容・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 刈った草や剪定枝により、エコスタックを作る。 日光の当たる明るい場所や林縁に設置すると、枯木に産卵する昆虫類が利用しやすい。 <p>【対象となる野生生物】</p> <p>トカゲ類、ヘビ類、カミキリムシ類、タマムシ類、カブトムシ等</p> <p>【イメージ】</p>  <p>©日本生態系協会 野山北六通山公園</p>									
⑩カワセミの営巣誘致										⑪ビオトープ造成																			
池	ハス池	菖蒲田	水田	水路	湿地	草地	樹林	北川	その他	池	ハス池	菖蒲田	水田	水路	湿地	草地	樹林	北川	その他										
<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> カワセミの繁殖を促す <p>【内容・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> バックヤードの構造物を利用し、カワセミが繁殖用の土壁を製作する。 構造物の裏に盛土を設け、杭と板で囲って固定する。一辺40cm～50cm程度の大きさを構造物をくり抜き、土を露出させる。 <p>【対象となる野生生物】</p> <p>カワセミ</p> <p>【イメージ】</p>  <p>掘り抜いた穴から土が露出 表面 裏面</p>										<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の影響を受けない場所に野生生物の生息場所を確保する <p>【内容・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> バックヤードに浅いすり鉢状の池を創出し、しょうちゃん池と水路でつなぐ。 仮にトウキョウダルマガエルを目標とした場合には、最深部でも30cm程度の深さとし、岸に向かって緩やかに浅くする。 <p>【対象となる野生生物】</p> <p>トウキョウダルマガエルなど</p> <p>【イメージ】</p>  <p>ビオトープの一例</p>																			